

あさひ農園とあさひ織りが活動のメインに

現在、あさひ農園とあさひ織りがメインの作業内容となり、あさひの活動資金の大きな支えとなっています。

あさひ農園を始めたのは今から12〜13年前。使っていない土地の活用を依頼されたのがきっかけでした。

雑草だらけの土地を畑にするのはとても大変な作業でしたが、現在では年間を通して多くの野菜を安定的に収穫できるようになりました。

あさひ織りは、あるボランティアさんから、手織り機を使った織り物があると聞いた事がきっかけでした。発起人の一



完全無農薬！肥料も時間と手間をかけて作った完熟堆肥

あさひ農園では無農薬の有機野菜を栽培しています。作っている野菜の種類は30種類以上と多く、肥料も、設立当初に空き地で刈って20年保存していた草とボカシ（ぬかともみ殻を合わせて発酵させたもの）を混ぜて作ったオリジナルの完熟堆肥を使っています。

朝収穫された新鮮な野菜は、あさひの前に並び、どなたでも購入することができます。甘味があって美味しいと評判です。夏は毎日収穫があるそうです。安心安全で美味しい無農薬野菜をぜひ味わってみてください。



朝収穫した野菜と季節の花はあさひの前で売られています。この日はヤーコン、スナップエンドウ、金柑、かき菜、絹さや、サニーレタス、キャベツが並んでいました

織る人の個性の美しさが形となっています

利用者の北澤さんたちが織る「あさひ織り」は、個性豊かなデザインと豊富な種類が特徴の織り物で、織る人それぞれの個性が光る、まるでアート作品のような美しさ。糸の配列の段階から模様の出し方や色の見え方を計算して織っているそうで、この特別な感性が、そのまま美しい織り模様となって表れています。

利用者が織ったあさひ織りはボランティアさんが仕立てて完成となります。あさひに行くと実際の製品を見ながら選ぶ事ができ、サイズや色を伝えてオー



トートバッグ、ミニバスケット、お薬手帳ケース、マット、巾着、ポーチ、布草履、ほかにも紹介しきれないほどたくさんあります。あさひに直接行って実際の製品を手にとって見る事もできます。オーダーする事もできますので、あさひまでお問い合わせください



うになり、現在ではたくさん話してくれるようになったそうです。

スーパードなど北澤さんに声をかけてくれるご近所の方も多くいて、地域との繋がりをを感じる事も多くなったと宮本さんは嬉しそうに話してくれました。「利用者は自分が必要とされていると実感できて、安心できるこの場所で、だいぶ力を発揮できるようになりました。失敗してもみんな怒らないし、人を責める事もない。本当に温かいところです。」

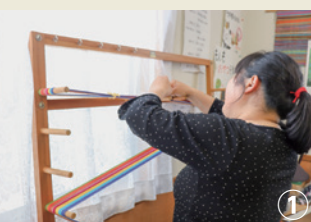
利用者それぞれの個性や素晴らしさを話してくれる優しいまなざしから、愛情の深さと信頼関係の強さが伝わってきました。

あさひに関わるみなさんの、優しくて穏やかな雰囲気、それぞれにとって安心できる居場所を作り出しています。



支援員の宮本さんは作品を見ただけでどの利用者が織ったものかすぐにわかります。それぞれ特徴がよく出ているそうです①田上照和さんの作品②原敏廣さんの作品③北澤美由紀さんの作品

あさひ織りができるまで



① 整経台に糸をかける作業。必要な本数の糸を長さを均一にそろえ、糸の並び順序を整えます



② 糸を箆（おさ）に通す作業。整経台からはずした糸を一目ずつ通していきます



③ たて糸ローラーに糸を巻き取る作業。布に糸を結び付けます。この作業の後、織り始めとなります



④ 布地も一緒に織って完成した作品。鮮やかで美しい配色の織作品が二日ほどで出来上がりました



NPO 法人あさひ
利根町早尾200番地182
月～金 9:30～16:00
☎ 0297-68-2381
あさひ織り各種、無農薬野菜や季節の花を販売しています。お気軽にお立ち寄りください

みんなが気持ち良く作業を進めるために

あさひの活動を支えるボランティアさんは現在約20名。織り物の仕上げ、布草履作り、草刈り、木の伐採、いろいろな作業を行っています。

毎年12月にはボランティアさんを招待して感謝祭を行っており、その和気あいあいとした雰囲気の中で、自然と良いアイデアが出る事も多くあるそうです。「障がい者だけでなく健常者も含めて、気持ち良く働いてもらうために、ボランティ



①② Tシャツ生地や浴衣生地を均等な幅に切ります ③月に二回行われるハンドベル教室の様子



あさひからのメッセージ

普段の生活の中で、居場所がないと感じる方、何かうまくいかない方、自宅から出ることが難しい方、何をしても良いかわからない方、そういった方やご家族も、一度あさひに立ち寄ってみてください。

親御さんが相談に来てても大丈夫です。本人だけでなく、親御さんも癒される場所にしたいと思っています。悩みを共有したり、話す事によって楽になることもありますので、とにかく閉じこもらないで、一人で抱え込まないで、気楽に話しかてみてください。対人関係がうまくいかないと、人の顔を見たくないとか、障がいのあるなしに関わらず、あさひは誰かの居場所でありたいと思っています。気軽に立ち寄ってみてください。